

令和2年度岡山県農林水産総合センター 農業研究所 機関評価結果票

1 運営方針及び重点分野	非常に優れている 人	優れている 5人	妥当 1人	見直しが必要 人	全面的見直しが必要 人
助言、指摘事項等 1. 「21おかやま農林水産プラン」に基づいて、儲かる産業としての農林水産業の確立のために、農業研究所として目指すべき明確な3つのビジョンを策定し、特に「ブランディングの推進」のため、新品種育成や新技術等の開発に取り組んでおり、運営方針は適切である。 2. 研究課題の設定に当たっては、技術開発の重点分野として、①ブランド力の強化②生産性の向上③環境との調和と気象変動への対応④新しいニーズへの対応の4つの分野に分類整理して取り組まれており、高く評価できる。					
2 組織体制及び人員配置並びに 予算配分	非常に優れている 人	優れている 2人	妥当 4人	見直しが必要 人	全面的見直しが必要 人
助言、指摘事項等 1. 総職員数が十分多いと言えない中、効率的に業務を進めるよう職員を適切に配置している。 2. 選択と集中により、効率的に予算配分を行っており、外部資金も積極的に獲得している点が評価できる。 3. 今後とも効率的かつ効果的な試験研究を行うとともに、優良種苗の供給や生産者、関係機関への技術支援を継続するため、人員確保と予算確保に努めて欲しい。 4. 単独で解決が難しい課題、他県と共通する課題については、関係機関、他県と連携した競争的資金獲得に取り組んでいただきたい。					
3 施設・設備等	非常に優れている 人	優れている 人	妥当 4人	見直しが必要 2人	全面的見直しが必要 人
助言、指摘事項等 1. 効率的かつ効果的な試験研究を行うには、圃場管理機械や調査分析機器の新規購入・更新は、必須条件であるため、積極的に進めるべきである。 2. 文部科学省の補助事業を活用して、高機能・高精密備品の整備に努めていることは評価できる。 3. 施設の老朽化対策については、早急な検討が必要と思われる。 4. スマート農業、IT活用という政策推進がなされており、農業研究所においても、現場の取組に遅れることのないように願う。					
4 研究成果	非常に優れている 2人	優れている 3人	妥当 1人	見直しが必要 人	全面的見直しが必要 人
助言、指摘事項等 1. 多くの成果を「技術」と「情報」に分類して分かりやすくまとめ、積極的に「試験研究主要成果」としてホームページ等を活用して公表し、生産現場への迅速な普及に努めており、農家所得の向上への貢献度は高く評価できる。 2. 得られた知見を研究論文・学会発表として公表していることは評価できる。成果公表は重要なことであるので、さらに増やして欲しい。 3. 普及状況については、面積等の実数だけでなく、普及対象のどの程度の割合に普及したかという情報も示していただきたい。 4. 県民に成果をアピールするため、積極的に地元の新聞に掲載して欲しい。また、SNS等のメディア活用も有効であろう。					

5 技術相談・指導、普及業務、行政検査、依頼試験、情報提供等所掌業務の実施状況	非常に優れている 1人	優れている 4人	妥当 1人	見直しが必要 人	全面的見直しが必要 人
助言、指摘事項等 1. 限られた人員配置、予算の中で、多くの技術相談、普及業務、依頼試験に対して、適切に対応している点は高く評価できる。 2. 農家から持ち込まれた診断及び技術相談対応では、農家等から頼りにされている。 3. 農協合併で合理化されていく中、営農指導員の配置が減ることが予想され、県として益々農家の要望に応える要望が高まるため、新技術や新品種の普及への貢献に期待する。					
6 人材育成	非常に優れている 人	優れている 3人	妥当 3人	見直しが必要 人	全面的見直しが必要 人
助言、指摘事項等 1. 平成29年に策定した「農業研究所人材育成指針」により、人材育成が進められており高く評価できる。 2. 試験研究の成果を継続的に得るためには、人材育成が最も重要と思われるので、学会、研究会、研修会などに、積極的に職員の派遣を進めていただきたい。 3. 学会、外部研修会への参加が前年と比べて減少しているため、増加するよう努められたい。 4. 農業研究所と普及センターとの連携や研修等での技術交流についても、人材育成の視点で引き続き進めていただきたい。					
7 他機関との連携	非常に優れている 人	優れている 2人	妥当 4人	見直しが必要 人	全面的見直しが必要 人
助言、指摘事項等 1. 広く全国の研究機関と共同研究を進めているほか、岡山県産学官包括連携協定を結ぶなど、他機関との連携強化を図っており、評価できる。 2. 今後も人員、予算が厳しい状況は続くと思われるので、試験研究の成果を継続的に上げるため、引き続き、積極的に他機関との連携強化、共同研究を進めていただきたい。 3. 研究課題によっては、岡山大学以外の県内の大学との連携も重要であろう。					
8 県民・地域への貢献	非常に優れている 人	優れている 4人	妥当 2人	見直しが必要 人	全面的見直しが必要 人
助言、指摘事項等 1. 県民・地域へ広く開かれた農業研究所を目指して、新聞、テレビ、ラジオ等を活用して情報発信に努めるとともに、ホームページを有効な媒体として活用しており、アクセス数の増加は評価できる。情報発信のさらなる充実に期待する。 2. 「農研トピックス」のようなタイムリーな情報は、ホームページだけでなく、SNSの活用も有効ではないか。 3. 中・高・大学生に農業への興味喚起を起す取組に期待する。 4. 県民・地域への貢献としては、農業者や県民ニーズに合致した研究を進めている。					
9 前回指摘事項への対応	非常に優れている 1人	優れている 3人	妥当 2人	見直しが必要 人	全面的見直しが必要 人
助言、指摘事項等 1. 前回の指摘項目に対して、改善する意欲と方向性を持って適切に対応されている。 2. 担い手を取り組みやすい農業技術として、スマート農機やICT機器を活用した省力的な圃場管理や生育診断技術の開発に取り組んでいることは、高く評価できる。					

総合評価	非常に優れている 人	優れている 6人	妥当 人	見直しが必要 人	全面的見直しが必要 人
<p>1. 運営方針に基づいて、農業研究所の目指すべきビジョンを掲げ、出口を見据えた技術開発を目標に取り組んでいる。特に「ブランディングの推進」を強化し取り組みを進めている点は評価できる。今後とも「次代を担う力強い担い手の確保・育成」に繋がる技術開発や新規就農者にもわかりやすい情報提供を期待する。</p> <p>2. 厳しい県財政の中で、限られた人員体制や予算を効果的、効率的に運用して、今後とも現体制を縮小することなく、積極的な研究開発や優良種苗の供給、生産者等への技術支援の事業を継続実施し、本県農業の推進役を担って欲しい。</p> <p>3. 岡山県農業を支える農業研究所として、継続的に試験研究の成果を上げるため、今後とも人員・予算の確保、人材育成に努めていただきたい。</p> <p>4. 限られた人員、予算の中で、単独で解決が難しい課題、他県と共通する課題については、大学、国、他県、民間の研究機関との連携を図り、競争的資金の獲得に尽力していただきたい。</p> <p>5. 研究施設、備品の老朽化対策について継続して取り組んでいただきたい。</p> <p>6. 研究成果の普及に尽力している点は評価できるが、今後、ホームページだけでなく、様々なメディアや機会を活用して、研究成果の普及や県民への情報提供に注力してもらいたい。</p>					